

写真の通りのミリタリー集団4人組が短銃を手に打ちまくりながら（水鉄砲）現れ、大型遊具の上に勢ぞろい。大型遊具下に集合したぞう組さんが、みんなで「レバーガチャ」（子どもが命名）を下ろせば.....、ミリタリー4人組が短銃をバズーガ砲（大型クラッカー）に持ち替えて、一斉発射！！「さあ！夏祭りのスタート！みんなで楽しみましょう！」と小島実行委員長のかけ声の下牧の夏空に響き渡りました。この瞬間から夏祭りモードは最高潮、子どもたちにとって、ふるさと下牧の忘れられない景色として心に刻まれたに違いありません。この素敵なオープニングの前座には1ヶ月毎日練習を積み重ねた職員太鼓があったこと、そしてその練習努力を見てきた園児たちが「がんばーれ！がんばーれ！」と連呼してくれたその心、両方ともに下牧こども園の自慢です。



園の職員がこんな会話をしていました。「大人が楽しんでいましたね。」「そりゃあ、大人が楽しむくらいでないと、子どもだって楽しくならないから。」手前味噌ですが、子ども・保護者・先生が、三位一体で楽しむ素敵な下牧こども園です。

「更生保護女性の会」読み聞かせ

今回（8月22日）は「ぞう組（5・6歳児）」でした。子どもたちにとっても、3名の方にとっても絵本を通して会話あり笑いありの楽しい時間となりました。今回はお一人の方が「サルカニ合戦」を語りで聞かせてくださいました。「ねむい時間帯に視覚を刺激する絵本なしで子どもの関心はもつだろうか？」と、私の心配もつかの



間、子どもたちは視覚情報がない分まで全神経を集中させて聞き入っているような顔つきを見せていて、驚きの光景でした。

記録ノートに「話の中に聞き入って、思い思いのことを口にしてくれるのがうれしいです。」とのうれしいお言葉をみつけました。ありがとうございます。